

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	H.I	学部・学科	国際商学部・国際商学科
学年	4年	派遣国	スウェーデン
派遣大学	オレブロ大学		
期間	2022年8月21日～2023年6月23日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (80000) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(校舎) で、約 (10) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	40000円	日常生活で食べる食品
学用品購入費	0円	授業のテキスト等は図書館やElibraryで対応
交通費	10000円	電車、バス代
交際費	10000円	友達と外食やスポーツ観戦に使った費用
その他	20000円	家具や雑貨など買い物に使った費用
合計	80000円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

オレブロ近辺には特に治安に関して懸念はなかったが、夜に出かける際は友達と出かけることが好ましい

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	() 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (**オレブロ**)

スウェーデンで第7の最大都市と言われている。ストックホルムから電車で2時間弱程度かかる。町の特徴としては、かなり田舎な印象であり商業施設は多くない。しかし、中心市街地に行くと、生活に必要なものや家具・雑貨は購入できるため、買い物に困ることは少ない。

【学業編】

1. 大学情報

大学	オレブロ大学	所在地	オレブロ
最寄空港	ストックホルムアーランダ空港	空港からの距離	バスで45分⇒電車で2時間
空港⇄大学	(バ ス → 電 車 → バ ス) *移動手段		
学生数	16000	留学生数	180
学部	Faculty of business, science and engineering Faculty of humanities and social sciences Faculty of medicine and health *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Faculty of business, science and engineering School of business *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(10)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Swedish politics and policy		Swedish politics and policy		
午後				Swedish politics and policy	

② (1)月～(2)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Culture and leadership in international business	International management	Culture and leadership in international business		International management
午後				Culture and leadership in international business	

3. 履修内容

科目	Swedish politics and policy		
履修期間	9～10月	単位数	7.5
授業内容／形態	スウェーデンの政治や政策について学ぶ授業 ほとんど先生の講義で進んでいき、2回ほどテーマに沿って論文を書く課題があった。		
成績	F		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Global Marketing		
履修期間	10～11月	単位数	7.5
授業内容／形態	グローバル企業のマーケティング戦略について学ぶ授業 ほとんど先生の講義で進んでいき、グループワークが2回あった。 そのうち一回はスウェーデン人の現地の生徒とのコラボレーションだった。		
成績	F		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Social Work and Social Policy for a sustainable future		
履修期間	11月	単位数	7.5
授業内容／形態	SDG s を中心にサステイナブルな未来のために実施されている政策や制度を学ぶ授業 ほとんど先生の講義で進んでいき、論文を書くアサイメントとテストがあった。		
成績	F		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Supply chain management		
履修期間	12月	単位数	7.5
授業内容／形態	企業の生産活動のうち、サプライチェーンマネジメントに焦点を当てた授業。ほとんど先生の講義で進んでいき、グループワークがあった。かなり多い頻度でテキストブックのチャプターごとの課題が課された。		
成績	C		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Sustainability and organization thoery		
履修期間	1-2月	単位数	7.5
授業内容／形態	持続的な社会や組織形成のための理論を学べる授業 ほとんど先生の講義で進んでいき、グループワークが2回あった。		
成績	F		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	International Management		
履修期間	3-4月	単位数	7.5
授業内容／形態	グローバル企業の経営戦略について学べる授業 ほとんど先生の講義で進んでいき、グループワークが2回あった。		
成績	F		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Culture and Leadership in international business		
履修期間	3-4 月	単位数	7.5
授業内容／形態	グローバルビジネスのシーンにおいて、どんな文化の違いや価値観をそれぞれの国が持ちうるのかを学べる授業 ほとんど講義形式でグループワークが2回あった。		
成績	F		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Strategic Brand Management		
履修期間	5-6 月	単位数	7.5
授業内容／形態	ブランド戦略について学べる授業 ほとんど先生による講義形式でグループワークが2回あった。		
成績	F		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	H.I.	学部・学科	国際商学部・国際商学科
学 年	4 年	派遣国	スウェーデン
派遣大学	オレプロ大学		
期 間	2022 年 8 月 21 日～ 2023 年 6 月 23 日		
プログラム	交換留学プログラム		

< 留学先大学での履修内容 >

科目	Swedish Politics and Policy
講義内容	スウェーデンでの政治や政策などについて学べる授業
科目	Global Marketing
講義内容	グローバル企業のマーケティング戦略について学べる授業
科目	Culture and Leadership in International Business
講義内容	グローバルなビジネスシーンでの文化や価値観の違いを学べる授業
科目	International Management
講義内容	グローバル企業の経営戦略について学べる授業
科目	Strategic Brand Management
講義内容	ブランド戦略について学べる授業
科目	Supply Chain Management
講義内容	サプライチェーンマネジメントを学べる授業

<総括>

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

私は、留学を通じて、自分なりのコミュニケーションスタイルを見つけて、それに適した関わり方をすることが最も重要であると実感しました。留学渡航前からも語学学習に取り組み、留学に臨みました。しかし、実際に渡航してみて現地の学生や先生、留学生の友達と話してみると、実際に練習していた英語よりもスピードが速かったり、訛りがあったりで会話をするのに大変苦労しました。それから留学生生活が始まった当初は、かなり積極的に話しかけていたものの、だんだん会話についていけなくなってしまい、非常に人間関係の構築に悩まされました。そこで自己要因と環境要因に分けて、自己分析したところ、環境要因として自分が話しやすい環境ではなかったことに気づきました。自分はもともと内向的な性格なので、大勢で話す環境よりも少人数で話す環境の方が話しやすいと感じるからです。そこで、オリエンテーションやパーティーなど人が集まる機会では、グループに話しかけるのではなく、自分がこれまで話したことがある人、個人に話しかけたり、少人数のグループを狙って話しかけるようにしました。このように自分の話しやすい環境やコミュニケーションスタイルで話すことで、“留学だから頑張って話そう”ではなく、のびのびと自分のペースでコミュニケーションできるようになったと感じます。そこから徐々に友人関係の幅を広げ、一緒に遊んだり、スポーツ観戦したり、共通の時間を過ごすことで関係値の深い友人関係を創るとともに、そこから波及して新たに友達を作ることにも成功しました。また、その中でインターナショナルディナーでそれぞれの国の料理を作り合ったり、お互いの国の文化や学校のことなど共有し合うことで、異文化への関心度が上がったり、寛容性が身についたりしました。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

今後は、留学で培った全くなじみのない環境でも現状分析しながら、戦略的に順応できた経験や異なる文化・価値観への寛容性を活かしていきたいです。残りの大学生活では、横浜市に来る交換留学生のチューターボランティアに非常に興味があるので、その役職を経験して、どんどん自分の価値観を広げたり、交流したいと感じました。またその先のキャリアプランに関しては、留学前は正直海外で働くことは頭の片隅にもありませんでしたが、留学を機に海外では働くことへのあこがれが湧いたため、どんどん挑戦できるような環境に身を置いて働きたいという想いが強くなりました。これからは引き続き、資格の更新で語学力を高めつつ、英語が使いえたり、異文化交流ができるような環境に身を置いて、過ごしていきたいと考えています。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

これから留学への挑戦を検討される方は、語学力を強化することをお勧めします。上述した通り、自分にあったコミュニケーションスタイルを見つけて、それに沿って会話していければ、留学で友達もたくさんできると思います。しかし、最低限は語学力は必要になると思います。私も渡航前は語学力の強化にひたすら努めていました。具体的には資格試験の勉強をしたり、オンライン英会話で話したり、映画やTED talkなどを見てリスニングの強化を図りました。大事なものは、そこで得た語学力はもちろん、その先に努力した量に応じて、自分に自信が持てることが大事なのかなと思いました。海外では、日本よりも個人の意見や意思を聞かれたり、重視されるケースが多いため、拙いながらも自信をもって、自分の意見を伝えられるような姿勢が最も大切だと感じました。だからこそ、語学力に力を入れて取り組むことをお勧めします！また渡航先の国で迷っている人は、大学でどんなことができるのかを調べるのはもちろんのこと、それぞれの国や都市の特徴、観光名所や何が有名なのかを調べてみて、自分が実際に住んで住みやすそうか、楽しめそうかといったイメージを膨らませてみると、本当に行きたい国や都市が見つかるかもしれません。ぜひ頑張ってください！

